

テーマの設定理由(4歳児)

遠足先の公園で見つけた木の実等の自然物を、雨樋を使って転がす遊びを楽しんでいたところ、形によって転がらなかったり、転がるスピードが違ったりすることに興味をもっている姿から、自然の不思議さへの探究を深めて欲しいと感じたため。

活動① ～遠足で見つけた自然物を転がそう！(4歳児)～

様々な材料、素材を使って「転がす」方法を楽しんでみる。

環境デザイン

●用意したもの

拾った自然物、斜面板(傾度3種類)、転がしゲームの箱(一人用)、転がしゲームの用紙(二人用)

探究活動の実践

●活動内容

様々な転がる遊びを経験する中で、転がり方や転がり落ちる場所、転がるスピードなどの違いに気づきながら自分なりに試したり、友達と比べてたりして遊ぶ

●子ども達の様子

- ・高さの違う斜面板では種類の違う転がるものを両手に持ち、同時に離して転がるスピードが違うことを面白がり何度も試していた
- ・子ども同士でルールを作り、どこに転がったら成功、こっちは失敗など共通のイメージをもち伝え合いながら遊ぶことを楽しんでいた

活動スケジュール (4・5歳児クラス)

活動内容	時間/回	人数/回
① 自然物を転がしてみる(4歳児)	1時間	自由
② 木の遊園地体験(4歳児)	1時間 30分	自由
③ 泥んこ遊びをする(5歳児)	1時間	自由
④ 農園で自然体験をする(5歳児)	1時間 30分	自由



保育者の振り返りと気づき

●園の保育者より

- ・転がす物の違いだけでなく、段ボールと板の違いにも気がついていて
- ・トンネルや木の板などを自分たちで置いて、転がる方向やスピードが変えられるなど、自分達で試行錯誤ができると面白いのではないかと
- ・よく転がる、早く転がることを楽しんでいて、一番傾斜のあるものを選んだり、転がりやすいものを選んだりしていた
- ・下から転がしたり、ひねって転がしたり、様々な転がし方を子ども達が発見していた

活動② ～木の感触や香りを全身で楽しもう！(4歳児)

雨どいやお菓子の箱、段ボールなど、様々な方法で転がす遊びを楽しんできた子ども達。身近にある転がりそうなものや自然物を使って、転がり方や転がるスピードを探究する中で、丸い方がより転がりやすいことにも気づいている。もっとダイナミックに自然物に触れ、転がる不思議さ、試す楽しさを感じられるように「木の遊園地」に来てもらい遊んだ。

環境デザイン

●用意したもの

木のプール・コロコロドミノ装置・コロコロやぐら・木球
全自動からくり装置

探究活動の実践

●活動内容

たくさんの木球と転がす装置を使って転がる様子を楽しんだり、全身を使って木のぬくもりや匂いを感じたりする。コロコロドミノ装置では組み方を教えてもらったり、友達と一緒に組み立てたりしながら遊ぶ。

●子ども達の様子

- ・コロコロやぐらでは転がる木球を追いかけてながら目の前で転がる様子を楽しんでいた
- ・木のプールでは「木の匂いがする」「お風呂みたいだね」と寝転がり、手足を伸ばして全身で木の感触を楽しんでいた



保育者の振り返りと気づき

●園の保育者より

- ・穴に木球が落ちる様子も楽しんでた。自分達で木の道を作って転がす遊びにつなげていきたい
- ・保育者が準備するのではなく、子どもが遊びを発見し、身近なもので子どもが自ら設定できるように、園庭にも木の板を置いてみたい

活動④ ～畑の土と園庭の土は違う！？～(5歳児)

これまで園庭では土をひっくり返して虫探しをしたり、さつまいも掘りをしたり、夏には泥んこ遊びをしたりするなど、様々な土や泥の感触を楽しんできた子ども達。その中でふかふかの土やガチガチの硬い土、さらさらの白砂など、素材の違いを感じ、用途を使い分けて遊び込んできた。

環境デザイン

目黒区八雲にある栗山農園に自然に触れる体験をしに行く。

●用意したもの

身近な自然物、画用紙、絵の具など

探究活動の実践

●活動内容

- ・土の中に手を入れて土の温かさを感じたり、柔らかさや匂いを感じたりして五感を使った体験をする
- ・芋づるの冠に好きな花や葉っぱをさして飾り付ける
- ・さつまいもの根を使って絵の具で絵をかき、その上に土を塗ったり、花や葉をボンドでついたりする

●子ども達の様子

- ・土の中に手を入れると「あったかい」「柔らかい」など言葉にして友達と感想を伝え合っていた
- ・子ども達同士で互いに冠に飾り付けをしたり、絵の具や土で描いた絵を見て感想を伝え合ったりしていた。「素敵だね」「かわいいね」と伝えられると嬉しそうにしていた



保育者の振り返りと気づき

●園の保育者より

- ・土の匂いや葉や茎、根の感触や匂いに触れ、五感に刺激を受け子どもたちの表情が柔らかくなっていた
- ・園でのさつまいも掘りの時の土の感触とは違く、土が柔らかいことに気が付いていて、何が違うのか疑問をもっていた。自分達で調べたり、聞いたりして関心を深められるとよい

テーマ:自然の不思議 (4歳児・5歳児)

荏原保育園(品川区)

テーマの設定理由(5歳児)

昨年度から発掘を楽しんでいて、土や砂に触れたり、掘ったりすることを楽しんできた。園庭でも戸外へ出て「宝がある」と植え込みや地面のくぼみを木の枝などで掘り、質や色の違う石を見つけ喜んでいる。その中で砂と土のさわり心地の違いや形の変化を楽しんでいたため泥遊びをテーマに設定した。

活動③ ～泥の感触を全身で楽しもう♪～(5歳児)

夏の遊びの中で水を使って泥んこ遊びをし、泥の感触や水の流れを作って遊んだ。

環境デザイン

- 用意したもの
水、たらい、バケツ、スコップ

探究活動の実践

●活動内容

園庭にて泥んこ遊びをする。泥の感触を感じるため、裸足で活動する。

●子ども達の様子

- ・乾いた地面に水を流し、泥の硬さの変化に気づいて「柔らかくなった」と友達に伝えたり「もっと水流そう」とやりとりをしながら感触を楽しんでいた
- ・地面にできた泥から泥だんごを作り、かける白砂の量を「たくさんかけないと硬くならない」と経験を通して学んだことを伝えている
- ・水の通り道を作ったり、泥の山を作ったり、泥の中からキラキラ光る石を探したりするなど、それぞれ夢中になって遊んでいた



保育者の振り返りと気づき

●園の保育者より

- ・自分なりに硬さを調節できるように、自分だけのバケツで試せると硬さの違いなどにも気付いてよと感じた
- ・今後継続して泥だんごを育てていくために、どんなものを用意するといいのかわかり、子ども達と一緒に考えながら準備していけると良い